



2024年4月7日主日共同礼拝メッセージ

日本同盟基督教団 クリスチャンプレイズチャーチ

【聖書に約束されている神の祝福を頂ける道】

今日の聖書本文:申命記28章1-9節/暗唱聖句:サムエル記第一15章22節

説教:鄭南哲牧師
(Rev.Jung nam-chul)

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！一週間も主の平安のうちに皆お元気でしたか。子ども、学生たちの最後の春休みの一週間、いかがお過ごしでしたか。今週から始まる、子ども、学生たちの進級、入学した新しい学校生活が祝福されますように、始まった24年度にも皆様の御家庭と全生活の上に神の御守りと豊かな御恵みが注がれ満ち溢れますように切にお祈り申し上げます！

<申命記とは>

ヨセフの時にエジプトに移住したイスラエルの民は430年間の奴隷生活を終え、神様の御救いの導きによって、出エジプトされ、荒野ではじめの3ヶ月の旅を終えてシナイ山に着くこととなりますが、ここまでの内容が記されている聖書が「出エジプト記」です。そして、イスラエルの民がそのシナイの荒野で1年間滞在しているうちにモーセを通して下さる神様からの掟と律法の内容が記されている聖書が「レビ記」であります。その後、ふたたび約束の地にむかっの荒野での38年間の長い旅を終え、ようやくモアブの平地に着くまでの全旅程が記録された聖書が「民数記」であります。その後、イスラエルの民はそのモアブの平地で約2ヶ月間滞在されましたが、その時、神様がモーセを通して、モーセの最後の遺言的なメッセージをくださいましたが、その御言葉が今日「申命記」という聖書です。申命記を英語では「Deuteronomy」と言いますが、この意味は「第二の律法(the second law)」もしくは「繰り返される律法(repeated law)」という意味であります。つまり、申命記は「新しく与えられた律法ではなく、すでに与えられた神の律法に対する繰り返しの再確認と再び詳しく説明し、敷衍(ふえん)」されたため付けられた名前です。これから神を信じるイスラエルの民が、約束の地に入り、どうやって神の約束されたすべてを祝福を實際頂き、体験して生きることが出来るのかももう一度確かめて下さる御言葉であります。

<1. 神様に祝福されるために我々はどんな人になるべきでしょうか。>

それでは、今日の本文に出ている神の約束されている祝福にはどんなものがあるでしょうか。神様を信じるいるみなさんは、新しい24年度の幕を上げて、新しくスタートしながら、どんな神の祝福を願い、必要としていますか。そして、何よりもどうすれば、聖書に約束された神の祝福をどう頂けるのか。神様はどんな人々を祝福されるのでしょうか。神様の御言葉である聖書はどんな人が神の祝福を受けると語っていますか。

まず、申命記28章にはいろんな祝福が約束され語られています。その神の祝福にどんな祝福があるかまとめてみると、世界のあらゆる人々の中で高く上げられる神の祝福(28:1)、神のすべての祝福が与えられ、ついて来る祝福(28:2-3)、子孫と環境の祝福(28:4)、神の祝福の通路となる祝福(28:6)、神の保護と勝利の祝福(28:7)、物質と手のわざの祝福(28:8)、神の聖なる民となる祝福(28:9)、天の倉が開かれ、時にかなった恵みの祝福、多くの人々に分け与える祝福(28:12)、かしらとならせ尾とならない祝福(28:13)などが約束され書かれています。

みなさんもこのような祝福を望んでいますか。するといったいどんな人が、どうする人がこれらの約束されている神様の祝福をいただけるのでしょうか。今日の本文である申命記28章1-2節「1もし、あなたが、あなたの神、主の御声に確かに聞き従い、私が、今日あなたに命じる主のすべての命令を守り行うなら、あなたの神、主は、地のすべての国々の上にあなたを高くあげられる。2あなたが、あなたの神、主の御声に聞き従うので、次のすべての祝福があなたに臨み、あなたについて行く。」にその答えは明らかに書かれています。どうすることでしょうか。

そうです。神様は神様の御言葉に従う人々にこのようなすばらしい祝福を約束しているのです。

神様は従う御自分の御民を祝福されることをたびたび約束されました。

申命記5章29節です。「彼らの心がこのようであって、いつまでも、わたしを恐れ、わたしのすべての命令を守るようになってほしい。そうすれば、彼らもその子孫も永久に幸せになる。」

反面、みなさん、申命記28章15-19節には従わない者が受ける神ののろいをも詳しく神は約束され記録されています。申命記の御言葉をとおして神様はイスラエルの民に、そして、今日の我らにもその選択を命じられました。中間がありません。どちら一つだけです。従うか従わないかしかありません。生きておられる神の御前で二つの中で一つだけを我々は選び取らなければなりません。神の御言葉に心から従うことにより約束された神のすべての祝福を受けるか、従わないで自分勝手に生きること苦しみられ、呪われた人生の道のりを歩むのかを神の御前で選ばなければならないことを神様はおっしゃっていることが分かります！

ですから、神を心から信じる者たちが神の祝福を實際頂くために、一番必要で大切なのが神の御言葉に従う信仰の姿勢！謙遜な姿勢の表しである従順！こそ、一番信じる者たちに神が望んでおられ、喜ばれることであることが分かります！！従順とは何でしょうか。従順とは神の命令、神様の御心と御言葉を信じて、謙遜に従うことであることが分かります。

E.M.バウンズという先生は「従順とは神の御心を喜んで従うことであり、その方の命令を命のように守り行うことであ

る。”と言いました。つまり、神の命令と御言葉に従うためには、自分の思い、欲望をおろし、自分の生き方、やり方をおろし、神様が命じられた御言葉こそ、完全で、自身の祝福の源であると信じ切って、即刻（そっこく）、心から従うことです。ところが、愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！神の御言葉に心から従う従順とは決してたやすくできるものではないということではありませんか！神様の御前で神の御言葉に対してどう反応して来られたのでしょうか。従って来たかどうか、だれよりみなさんご自身が一番よく知っていると思います。

＜2. 実際神様の御言葉に従って祝福された人々＞

聖書には自分より、人の言葉より、神様の御言葉を信じ、従うことにより実際、すばらしい祝福を受けた人々が記されています。アブラハムは神の命令と御言葉に従い、神の祝福をいただいたとヘブル人への手紙に書かれています。「信仰によって、アブラハムは相続財産として受け取るべき地に出て行くようにと召しを受けたときに、これに従い、どこに行くのかを知らずに出て行きました。(ヘブル人への手紙11:8)」

そしてアブラハムは一人子イサクをいけにえとしてささげるように神様が命じられ試された時さえも、神に従おうとした時、神様は彼に大いなる祝福を与えて下さいました。「16こう言われた。「わたしは自分にかけて誓う一主のことば一。あなたがこれを行い、自分の子、自分のひとり子を惜しまなかったので、17確かにわたしは、あなたを大いに祝福し、あなたの子孫を、空の星、海辺の砂のように大いに増やす。あなたの子孫は敵の門を勝ち取る。18あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。あなたがわたしの声に聞き従ったからである。」(創世記22:16-18)

新約聖書で印象的なのは、神様が創造された始めの人であったアダムの不従順とイエス様の従順についてこのように書かれています。

「すなわち、ちょうど一人の人の不従順によって多くの人が罪人とされたのと同様に、一人の従順によって多くの人が義人とされるのです。(ローマ人への手紙5:19)」

聖書にアダムの罪は不従順の罪だったと神は判定しています。人類始めの人であるアダムの不従順によって、人類が罪と呪いの裁きに置かれたのに、神様はその呪いに置かれた人々を愛し、救うためにその罪の代価として御子イエスキリストが神様に従って、十字架をせおうことにより多くの人が義とされたとのことです。

ピリピ人への手紙2章8-11節にはイエスキリストの従順とその結果についてこう語って下さっています。ご覧ください。

「8(キリストは)人としての姿をもって現れ、自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまでも従われましました。9それゆえ神は、この方(キリスト)を高く上げて、すべての名にまさる名を与えられました。10それは、イエスの名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるものすべてが、ひざをかがめ、11すべての舌が、「イエス・キリストは主です。」と告白して、父なる神に栄光を帰するためです。」

ですから、みなさん！神様の御言葉に対して従うことはこんなに大事です。

従順は、我々の残りの人生を神の祝福を頂けるかどうかそれを左右する大切な選択肢であり、信仰生活においてかならず抱くべき姿勢であることを忘れてはいけません。

＜3. 問題は？ 従順がたやすくはない！＞

しかし、愛する信仰の家族のみなさん！問題は何か。なかなか従えないことです。罪の本性を持っているため、神の御言葉通りに聞き従おうとするよりも、自分の思うまま、自分勝手に生きようとする傾向が強いのです。そこに絶えず葛藤と戦いがあります。

愛するみなさん！だからこそ、尊い姿勢だと言えるでしょう。我々は神様に従うより従わないで自分勝手に生きることがもっとたやすく簡単であることを経験通して知っています。聖書は、人間の墮落した本性の中にアダムの犯した罪に従ってつねに不従順しようとする意志と思いが我々人にあると指摘しています。そういうわけで、神様に従わない生活はどんな訓練も、努力も必要ありません。却って神の前で不従順することが我々にはもっと自然的です。

神様の御言葉と命令に従う姿勢と品性の模範、それがイエス様の姿です！！

ですから、我々がイエスキリストを受け入れ、信仰を持ち始めると、我々の中に残っている不従順の本性とイエス様のように生きようとする本性が引っ張り合います。その時、従順の方がもっと強くなると神に従い、不従順の方がもっと強くなると不従順の傾向に走るようになるのです。その結果がまさに我々の生活の実として表されるのです。神に従う者こそ、神様に愛されると聖書は約束して下さいます。

「わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛する人です。わたしを愛する人はわたしの父に愛され、わたしもその人を愛し、わたし自身を彼に現わします。」(ヨハネの福音書14:21)

愛するクリスチャンプレイズチャーチの全信仰の家族のみなさん！

神様が我々に何かを命じ、仰せられる時、覚えるべきことは、神様の御言葉と命令は我々を束縛するためでは決してあ

りません！それは我々のためなのです！結局我々が祝福され、益をもたらせるためであることを覚えましょう。神は愛なるお方です。その愛の神様が我々に何かを要求される時、神様の本当の心は我々のためにその命令をくださるのです。みなさんは、神様の御心こそ完全であり、素晴らしいものであることを信じていますか。神様の御心は我々のためであって、神様の全ての命令は我らに向かう愛から出たものであることを信じますか。

神様が従うことを命じ、仰せられたのは神ご自身のためではなく、我々のためでした。神様は我々が従うか否（いな）か、関係なく十分であり、全能な方です。我々の従順や不従順によって神の神なることが変わるものではありません。ですから、我々は深く考えなければなりません。我々に従順を命じておられるのは我々の有益と幸せのためであることを。

＜4. すると、どうすれば従える人生となれるのでしょうか。＞

どうすれば、後残りの半年、もう一度神様の御言葉に自ら進んで従えるでしょうか。

もちろん、神様の御言葉と命令が何であるか、何より神様の御言葉をたくさん読み、学ばなければなりません。（年一度聖書の各種道コース(いのちの道、御言葉の道、幸せの道、新しい道等)を学びましょう。）

神様の御言葉と命令、そして我々に対する神の御心はすでに聖書に全部書かれています。神様から直通で自分に特別な体験を通して語られ、命令を受けたと誇らしく証しする色々な方々の証しを読んだり、聞いたことがあります。正直に言いますと、私はそのような方々に出会い話を聞いたたびに、決してうらやましい気持ちはまったくありませんでした。

それよりも、御言葉で不十分だったため、神様があんなふうにもまで特別な方法で知らせなければならなかったのか。神様がどんなに哀ながら教えて下さったのだろうか。すでに、聖書を通してすべて知らせて下さっている内容なのに…神の御言葉に対する無知とその御言葉通りに従って体験出来なかったため、特別な方法じゃなければならなかったのではありませんか。なぜ、あの方は神の御言葉だけで満足できないのか。十分だと信じてないのだろうかという気持ちになります。

神の御言葉の中には一度だけではなく、すべて神様の御心が記されているのに、その確実な神の約束の御言葉には従わず、どうして新しく、特別な方法を探し、それを自慢話とし喜んでいいのか。

今日の時代に我々に一番大切な信仰とは何か御存知ですか。何かくすしい奇跡や特別な経験、体験談ではなく、**“わたしに神様の約束の御言葉だけでも十分です！”**という信仰です。この神の御言葉にしっかり根ざした信仰さえあれば、我々の人生は揺るがなくて従って生きることができます。

みなさんは神様が我らの祝福された人生となるために、与えて下さった一番大切な神の御言葉を読み、学ぶためにどれだけの時間を与えているのでしょうか。我々の教会のみなさんは神の御言葉と命令とは何かよく御存知ですか。今年の後残りの半年、私とみなさんがさらに従うことにより神様からの豊かな祝福をいただく一年になりたいなら、私に対する、我々に対する神様の御言葉と命令である聖書に戻って謙遜に学ぶべきではないでしょうか。そうするとき、ようやく我々は正しい従順の道を歩めると信じます。アーメン！

旧約の申命記を読んで見ますと、イスラエルの王たちに良い王として立たせられ、用いられるのを望んでおられる神様の願いをこめた命令が書かれています！旧約聖書申命記17章18-20節の御言葉をさがして読みましょう。

「18 その王国の王座に就（つ）いたら、レビ人の祭司たちの前にある書から、自分のために、このみおしえを巻物に書き写（うつ）し、19 自分のもとに置き、一生の間、これを読まなければならない。それは、王が自分の神、主を恐れ、このみおしえのすべてのことばと、これらの掟（おきて）を守り行なうことを学ぶためである。20 それは、王の心が自分の同胞（どうほう）の上に高ぶることのないようにするため、また命令から右にも左にも外れる（それる）ことがなく、彼とその子孫がイスラエルのうちで、長くその王国を治めることができるためである。」王たちが神様と民たちの前で良い王になるために、神様は出て行って勇敢に戦いなさいとか、神様にたくさんの献金を捧げなさいとか、熱心に奉仕しなさいなど色々条件を出したのではなく、**ただ単純な一つだけの命令**でした。それは何でしたか。

“神様の御教えをいつも自分の手元に、近くにおいて、日々、それを読み、学んで、守り行なうこと” だけでした。

自分が自分の人生の主人、基準ではなく、基準なしに生きるのではなく、**いつも神の御言葉の基準をもってその絶対基準として従い、守り行なって生きよう**とします。

聖書を英語のほかの言葉では、カノン(Cannon)とも言います。

聖書がカノンカメラという意味ではなく、もともと**カノンの意味はものさし**を意味します。つまり、**聖書がはかれる絶対基準であり、標準であり、核心、尺度（しゃくど）**となるという意味です。神様の御言葉こそ、人が正しく、幸せに生きる為の標準であり、道案内になり、時代が変わり、人が変わり、環境が変わって、この世の全てが変わっても、主の御言葉は代わらなかつたし、これからも世々に至るまで変わらない、**神様からの唯一絶対的な、核心的な基準**だから、昔から神の御言葉聖書をカノンと呼ばれたわけであります。

「天地は消え去ります。しかし、わたしのことは決して消え去ることがありません。」（マタイ24章35節、マルコ13章31、ルカ21章33節）」

詩篇1篇2節を見ると、**幸いな人は、神様のおしえを喜びとし、昼も夜もその教えを口ずさむ**と書かれています。神様の御前で幸いな人は神の知らない世間の人々が思い込みのような神の律法、すなわち神様の御言葉が自分の生活を制限し、自由が束縛されるのだと考えるのではなく、むしろ祝福だと信じています！

まるで汽車が線路、レールの上を走る時が一番安全で、自由に本来の目的地に一番早く着くことができると思わされるのが当然であるように、幸いな人はむしろ神様の御言葉こそが自分の人生のレールのようだと考え、信じます。

それでいつも自分の人生を御言葉の線路、レールを走り、その御言葉のレールに従って走ることこそ、自分の人生のまことの目的を見出し、自分が望まれたところに安全に着くと信じ、従って生活することによって、さらに祝福されることを信じます。**神様の前で幸いな人は神の御言葉のレールから離れ、脱線（だっせん）する時こそ、不安で危機で、さまようときである事実をよく知っている人**です。そのため、その人は**いつも神様の御言葉を黙想**します。

日本語の聖書ではこの**黙想(meditation)**の意味を **‘口ずさむ’** という単語を使って黙想とは何かを説明しています。ヘブル語では **‘ハガ(hagah)’** ということばですが、これは **‘意味を吟味(ぎんみ)しながらしずかに、やさしく口を出して読む’** 意味を持っています。

これからさらに神の御言葉に従える生き方と生活に変わっていくためには、神の御言葉を親しみ読み続け、黙想し、謙遜に学ぼうとする姿勢にならなければならないことをもう一度覚え、そう実践して見ましょう。

もう一つ、どうすれば神の命令と御言葉に従う人生になれるのでしょうか。

神様を一層、もっと愛することです。 従順は愛の実です。愛すれば簡単です。神を愛すれば神様の願われることをむりやりにするのではなく、自ら進んで喜んで従うことです。神様はそのような従順を喜んでくださいます。

「あなたがたは、もし喜んで聞こうとするなら、この地の良い物を食べることができる。」(イザヤ1:19)

神様は使徒パウロを通して愛され、神様との関係だけではなく、愛する人との関係の中で愛し合うことが保たれる秘訣が従順であることを強調します。

エペソ人への手紙5章22-33節では、幸福な結婚生活の秘訣について、従順と犠牲的な愛にあることを教えて下さっています。**「妻たちよ。主に従うように、自分の夫に従いなさい。23キリストが教会のかしらであり、ご自分がその体の救い主であるように、夫は妻のかしらなのです。」**

妻が夫に愛される秘訣は夫に対する従順を覚えて下さっています。使徒パウロはいつもキリストイエスにあって夫を尊敬し、心から従うようにと命じて下さっています。

そして、幸福な夫婦生活のもう一つは、夫の**犠牲的な愛**です。

「夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自分を献げられたように、あなたがたも妻を愛しなさい。」(エペソ5:25)**「同様に夫たちも、自分の妻を自分のからだのように愛さなければなりません。自分の妻を愛する人は自分自身を愛しているのです。」(エペソ5:28)**

妻は夫に愛を強要せず、夫が色々足りなくて、弱くても、夫を神が立たせて下さった我らの家庭のかしらとして認め、いつも子供や家族、他人の前で夫を尊重し、夫の権威を認め、従う時に夫から愛されます。同時に、夫も妻に愛を無理やりに強要しないで、人を愛するがゆえに、愛の残るところなく、御自身の命と全てを惜しまず、十字架に明け渡したイエス様の愛の姿を見習い、どんなに弱く、足りなくても、まず妻のために、どんな犠牲を払うことになっても、惜しまず妻の存在を大切にし、愛するときこそ、妻の尊敬と愛を受けられます！愛の従順と責任と犠牲を伴う愛が両方ともに伴っているとき、幸せな結婚生活、夫婦生活が守られていくことを覚えておきましょう。

愛するクリスチャンブレイズチャーチ信仰の全家族のみなさん！どこに行っても愛される秘訣は従うことです。

従う時こそ愛されます。神の御心、御言葉に従う時、一番神に愛され、祝福されます。神に従うべき人々に従う人たちの態度はいつも柔らかくて表情も温和です。

半面、不従順する人々の態度は頑固で、きつく、表情もかたいです。

みなさん、従順は愛の実であり、愛される秘訣であることを今日もう一度覚えておきましょう。

アメリカの有名なアンドリュ・マレイ先生は、次のような有名な言葉を残しました。

「地の上での従順は天にある神の愛の座に入れる鍵である。」

神様は神の人を選び、その人を通して働かれる時決してほかの条件や背景をご覧になりません。

ただ、大切な一つ！神様の御言葉に従う人々を御言葉の御約束通り祝福し、また尊く用いられました。

今日我々もサムエルが切にサウル王に語った神の言葉に耳を傾けるべきではないでしょうか。

「サムエルは言った。「主は、全焼のいけにえ物やいけにえを、主の御声に聞き従うことほどに喜ばれるだろうか。見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる。」(サムエル第一15:22)

愛するクリスチャンブレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！新しい2024年度が始まりました！始まった24年の間に神の御言葉のすべての祝福がみなさんの人生、家庭の上に豊かにありますように祈ります！神と神の御言葉をより親しみ、愛して、謙遜に御言葉通りより、徹底的に従い実践していくことにより、聖書にすでに約束された神様の豊かな祝福を実際味わって、経験して日々歩める全クリスチャンブレイズチャーチの信仰の家族となりますように我らの救い主イエスキリストの御名によって祈り申し上げます！アーメン！